

## ESG SHOWCASE

# ネットアップは、SAP HANA への移行に 欠かせない隠れた主役

日付：2020年11月 著者：シニアアナリスト Scott Sinclair

**概要：**今日の企業の業務に欠かせない SAP は、常時稼働が求められるミッション クリティカルなツールです。しかし、IT 最新化プロジェクトで、より強力な SAP HANA などへ移行しようとする、どうしてもリスクが付きまといま。データセンターとクラウドの双方に高度なテクノロジーで対応するネットアップは、SAP HANA への移行に関しても優れた専門性で定評があり、移行を確実に成功させるには、ネットアップをパートナーに選ぶことが何より重要です。

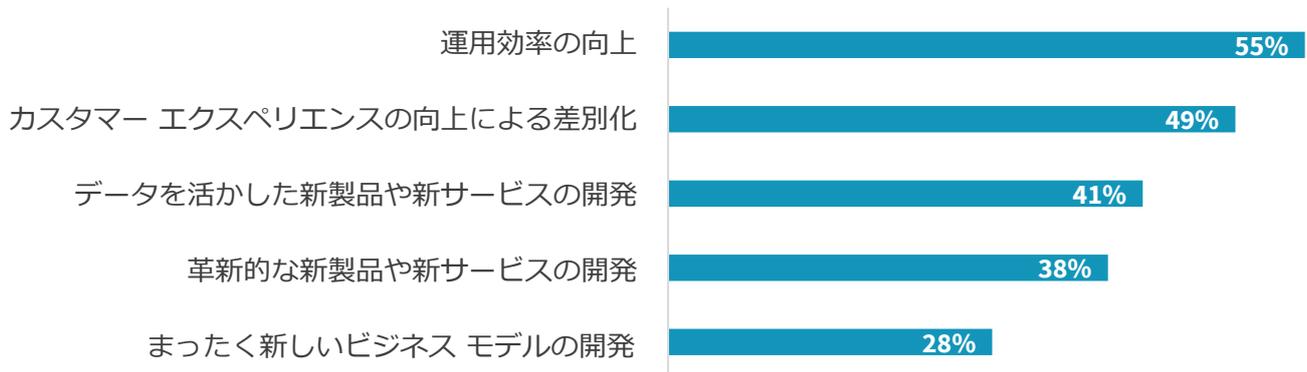
## デジタル変革の推進には IT 最新化が必要

ビジネスのデジタル時代を迎えた今、ビジネス上の結果や全体的な市場競争力には、IT 部門や IT 部門が提供するデジタル サービスの効果が大きく関わってきます。企業は、この現実を踏まえたうえで、自社のデジタル変革に優先順位を付けて取り組んでいます。ESG が先日行った調査によると、協力してくれた IT 部門の 94% が、デジタル変革の何らかの段階にあると回答しています。<sup>1</sup>

SAP は、今日のデジタル変革の主要な目標に直接結び付くワークロードです（図 1 を参照）。企業内部のビジネス クリティカルな複数のワークフローの最適化に欠かせないだけでなく、顧客満足度にも関係している SAP には、売り上げに多大な影響をおよぼす力があります。データに基づくリアルタイムの分析がビジネスの競争力を左右する今、SAP HANA や S/4HANA の機能がなければ、ビジネスは生き残ることができません。

図 1：デジタル変革に取り組むビジネスの主要な目標

貴社のデジタル変革の取り組みで、最も重要な目標は何ですか？  
(回答者に占める割合、N = 619、3個まで選択可)



出典：Enterprise Strategy Group

<sup>1</sup>出典：ESG 調査レポート『[2020 Technology Spending Intentions Survey](#)』（2020年2月）特に断りのないかぎり、本 Showcase に掲載したすべての ESG 調査資料やグラフは、この調査レポートからの引用です。

特に、ここ数カ月間で、データ活用の必要性を訴える声はますます顕著になりました。協力してくれた IT 部門のエグゼクティブの 60%が、新型コロナウイルス感染症により、今まで以上に IT に頼ることが見込まれると回答しています。<sup>2</sup>

## SAP HANA への移行を成功させるための秘訣

ビジネスにとって、SAP HANA への移行は片手間仕事ではありません。企業には、高度な仮想化や混在ワークロードを特徴とする複雑な環境が複数あるのがふつうです。SAP HANA への移行は避けて通れませんが、この移行は、デジタル情報とデータに基づく分析の収集方法と活用方法を考え直すという、またとない機会も提供します。もちろん、適切なプロセスを踏むには、事前にある程度の計画が必要です。そこで、IT の意思決定者には次のことが求められます。

- 基幹業務の責任者に、ビジネス成功のための取り組みを躊躇なく前進させることの重要性を説き、連携して目標を決める
- インフラ環境の刷新を検討する。刷新によってパブリック クラウドのリソースを活用できるようにし、将来のニーズを満たせる柔軟性を獲得しつつ、パフォーマンス、セキュリティ、信頼性という核となる要件を満たす

### 適切なパートナーを選ぶ

SAP HANA への移行を成功させるには、適切なパートナーの協力も必要です。次の特徴を備えたパートナーを探します：

1. **信頼性と信用性** — SAP HANA への移行を成功させた実績と、それを示す事例が必要です。事例から、移行にかかった期間を確認します。既存のベンダーやインテグレータからの移行だけでなく、複数の IT リーダー企業からの移行に要した期間も確認します。たとえばネットアップには、移行プロジェクトの成功事例が豊富にそろっています。中にはわずか 3 カ月で完了したプロジェクトもあります。
2. **インフラへの柔軟な対応** — データセンターとパブリック クラウドの 2 つのインフラで環境が構成されていることを、いとわないパートナーを選びます。こうしたパートナーであれば、当面のニーズを満たせるだけでなく、長期的な目標の達成にも柔軟に応じてもらえます。たとえばネットアップは、環境がオンプレミスでもオフプレミスでも、Azure NetApp Files などの複数のソリューションから必要なサービスを選択できる、一貫したストレージ基盤を提供しています。
3. **シンプルなデータ保護と扱いやすいデータ** — データ保護、バックアップ、リカバリのオプションを確認します。ネットアップは、SAP HANA のデータを数時間ではなく数分でバックアップすることで、オンプレミスで 99.9999%の可用性を、<sup>3</sup>クラウドで 99.99%の可用性を実現します。<sup>4</sup>併せて、ビジネス チームが SAP HANA のインサイトをすばやく活用できるテクノロジーがあるかどうかを確認します。たとえば、ネットアップの SnapCenter を利用すると、コピーの作成と管理が容易になり、情報管理や開発の取り組みに役立ちます。

<sup>2</sup>出典：ESG マスター調査結果『[Technology Impact of COVID-19: IT Decision Maker \(ITDM\) View](#)』（2020 年 5 月）

<sup>3</sup>出典：ネットアップに関する IDC のホワイトペーパー『[Evolving Availability Requirements Demand More Than Just a Resilient Storage Infrastructure](#)』（2020 年 2 月）

<sup>4</sup>出典：ネットアップの Web サイト『[Optimize SAP on Cloud with Proven NetApp Capabilities](#)』

## 総括

SAP HANA は、運任せにはできない重要なツールです。成功事例を文書で示せるパートナーを選ぶことが、何よりも大切です。ネットアップには、SAP HANA への移行プロジェクトで、パートナー候補に名を連ねられるだけのテクノロジー、経験値、ビジョンがそろっています。ビジネスに不可欠の SAP HANA には、最良のパートナー選びが必要です。詳細は、[「SAP がネットアップで稼働：SAP への移行を高速化」](#)をご覧ください。

商標名はすべて、それぞれの所有者に帰属する財産です。本ドキュメントに含まれる情報は、Enterprise Strategy Group (ESG) が信頼できると考えた情報源から入手したものです。ESG はその正当性については保証していません。本ドキュメントに含まれる ESG の見解は、変更になる可能性があります。本ドキュメントの著作権は、Enterprise Strategy Group Inc. が所有します。本ドキュメントの全部または一部を Enterprise Strategy Group, Inc. の明示的な承諾を得ないで複製することや、受領が許可されていない人物に複製物を頒布することは、その形態がハードコピーか電子的か、またはそれ以外かを問わず米国著作権法に違反し、民事上の損害賠償訴訟の対象となります。また、該当する場合は刑事訴訟の対象となります。ご不明な点は、ESG Client Relations (電話 : 508-482-0188) までお問い合わせください。